

令和4年度第1回
横浜市バスネットワーク会議
議事録

令和4年11月28日

議事録要旨

令和4年度第1回横浜市バスネットワーク会議	
日時	令和4年11月28日(月) 15時00分から16時00分まで
場所	横浜市研修センター 6階 (604・605)
開催形態	会議
案件	青葉区における取組の進捗及び計画案について
議事	<p style="text-align: center;">【青56システムの再編案に関すること】</p> <p>【参加員】 資料P3を見ると青56システムを増便されるようだが、利用者数も増える見込みがあるのか。また、運賃は均一か、対キロ計算か。</p> <p>【運行事業者】 青56システムは、運行間隔がまばらで、「朝、車で駅まで送ってもらった人が、帰りはバスに乗る」というような利用がされている。運行間隔を均等化することで、往復での利用がしやすくなり、利用者数は増えると見込んでいる。運賃は均一の220円。</p> <p>【座長】 青葉台駅までの直通便の時間帯の設定理由はあるか。</p> <p>【運行事業者】 出かける人、帰ってくる人が多い時間帯を考えて設定したが、アンケート結果次第で調整する余地はある。</p> <p>【座長】 緑山から青葉台駅まで行くと、時間がかかるため、直通の後2時間空いているのか。</p> <p>【運行事業者】 その通り。</p> <p>【座長】 そうであればアンケートで、前提の考え方が伝わるようにしてはどうか。この取組みは、限られた資源の中で、運行の効率性と利用者の使い勝手とのバランスをとるため、どこで我慢してもらうかだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案1は、路線を分けることで本数を増やせるが、乗り継ぎの負担がある。 ・直通便を入れれば入れるほど便数が減る。(例えば直通便を2便導入すると、そのあと2時間空いてしまう。)それでも直通便を望むか。 <p>このような考え方を説明することでアンケートの意図が伝わるのではないか。</p> <p>【参加員】 住宅地輸送と通勤通学輸送が重複している地域でのアンケートなので、どちらに属する人の意見なのか、読み取れるよう聞いてはどうか。 アンケートのB案について、直通便の時間帯に触れないとイメージでしか回答出来ない。 青56システムの直通便は2便程度とあるが、循環輸送でなければならないのか。片輸送でもいいのか。</p> <p>【事務局】 アンケートは意見を踏まえ再検討する。</p>

【自転車通行帯に関すること】

【参加員】

この地域は、区画整理された、ある程度広い道路ではあるが、住宅地の中に連節バス導入にあわせて自転車レーンを車道に移し、自転車がバスベイ付近を走行することになる。

ソフト面での対策もあわせて必要と考えている。今後、皆様にお知恵をいただきたい。

【座長】

この件に関して、事務局からありますか。

【事務局】

今回の説明資料と同じ説明を、各連合町内会、自治会会長に行っている。

賛否両論あるが、引き続き丁寧に説明していく。

【座長】

この地域の自転車の利用状況はどのようなものか。

【事務局】

資料P14のA区間では、朝の時間帯に、通勤や送迎で自転車利用が多いと聞いている。

【座長】

バスと自転車の関係は非常に難しい。

ロンドンでは、自転車の巻き込み事故が多いことが原因で、市民の反対意見があり、2000年代に導入した連節バスが2010年には全て2階建てバスに変わった。

日本では、自転車の利用にあたり、走行空間整備が出来ていない問題と、そもそも自転車利用者が道路交通法を理解出来ていないという問題がある。

連節バスの導入にあたっては、この地域の方々に、正確に道路交通法を理解いただき、自転車を利用していただく必要がある。

バス停付近でバスが止まっている時、自転車利用者は、どう対応すれば良いのか、判断方法も決めて、利用者にわかりやすく伝える。全体として安全になるように、関係者一同で決めていくことが必要。また、双方どこをどう譲るか、考える必要がある。

例えばパリでは、自転車が車道を走るところが多いが、バス停の幅員を3.25mではなく4mとっている。

自転車利用について指導してほしいとは思っていないが、対応方法は検討してほしい。

【事務局】

意見を踏まえ、警察、土木事務所とルールを決め、区と広報していく。

【座長】

くれぐれも、ルールとマナーを混同しないように。高校生等に関しては、学校の協力も得てほしい。

【参加員】

自転車用の矢羽根の書き方については、特にバス停やバスベイ付近で、自転車に対して、注意喚起（自転車優先と思われたいような書き方）を標示していただくと、双方で事故防止が出来ると思う。

【事務局】

矢羽根についても、どの様な書き方が望ましいか、道路局施設課、土木事務所と調整して書き方を検討する。

【座長】

幕張や、岐阜、兵庫あたりで先行事例があるかもしれないので調べてみては。

【事務局】

他都市の事例も確認してみる。

【その他】

【座長】

資料 P5 の写真（青葉台駅での学生の行列）の状況が連節バスの導入で改善されるということか。運行便数が減り、乗車方法が変わらないのであれば、列の長さは変わらず、改善されないのでは。

【運行事業者】

朝の時間帯は、青葉台駅では、3か所のドア全てを使って乗車してもらう。係員もつけるので、混雑は改善すると考えている。

【座長】

人員配置など、ご尽力いただくので、通学時に1か所乗車から3か所乗車になることが伝わるようにしてほしい。

【参加員】

青葉区外の方も対象としており、アンケート配布先がかなり広い。実際聞きたいのは緑山付近の方では。配布範囲が広いと意見が発散するのではないか。

【事務局】

区外の表記は、バス通学の学生と、バス通勤の近隣企業従業員にも回答していただくことを想定した記載。広範囲への配布という意味合いではない。基本は沿線の人を想定している。

【座長】

居住地や最寄りのバス停を書いてもらえば、分析はしやすくなる。

アンケートの目的として、取組に対して合意が得られればいいのか、具体的な運行計画について聞きたいのかを考え、聞きたい人に的確に聞けるようにしておいてほしい。

【事務局】

どこをポイントとして回答してもらうかを整理し修正する。

以上